

神戸大学医学部附属病院 広報誌

H21.1.10 NO.8

楠 だより 季刊

発行責任者 : 病院長
編 集 : 神戸大学医学部附属病院広報委員会



今月の花：ヤブコウジ

ご紹介

採血・採尿検査の受付に自動受付機
検査部

検査部は中央診療棟2階で、外来患者様の血液検査、尿検査を行っています。平成20年8月より、これらの検査の受付に自動受付機を採用いたしました。

採血・採尿自動受付機

設置場所 1 2 検査受付前
(採血・尿、生理検査受付)

設置台数 3台

稼働時間 8時から15時

受付内容 採血・尿検査

受付方法 自動受付機の診察カード入口に患者様ご本人(あるいは付き添いの方)が診察券(カード)をお入れ下さい。担当医師が依頼した内容に応じて採血整理番号券や尿カップが発行されます。音声と画面表示でご案内しながら採血・採尿の自動受付をしていただくシステムです。

次のような場合は、自動受付機が使用できません。

1. 担当医師から検査の依頼がない場合
2. 採血以外に早朝尿、蓄尿、糞便、喀

痰等を提出していただく場合
受付ができないときは、自動受付機すぐ左側の1 2 検査受付(採血・尿、生理検査)にお回り下さい。



自動受付機



有人の受付窓口

次に採血・採尿自動受付機の表示画面を紹介します。
診察券（カード）は決められた方向に挿入してください。



問合せにしばらく時間がかかります。



採血がある場合には採血整理番号券が、尿検査がある場合にはお名前を印字したラベルを貼った尿カップが右横から出てきます。

採血整理番号券をお持ちの方は10番採血室前でお待ち下さい。整理券の番号順にお呼びします。

尿カップをお持ちの方は採尿後（11番前にトイレがあります）、11番一般検査受付窓口の棚にご提出下さい。

二つ以上の診療科から採血指示がある場合や採血指示日が当日と異なる場合は、以下の画面が追加表示されます。

タッチ

ご希望の診療科の画面上を指でタッチして、選択して下さい。

タッチ

希望される日付の画面上を指でタッチして下さい。

(選択した日付の部分がピンク色に変わります。)

その後、確定をタッチして下さい。

(確認が表示されます。)

最後に、確認をタッチして下さい。

操作がわからない方、画面表示がわかりにくい方等は、12検査受付の担当者が対応いたしますので、お申し出下さい。



診療時間

1. 患者中心の医療の実践
2. 人間性豊かな医療人の育成
3. 高度先進医療の開発と推進
4. 災害救急医療の拠点活動
5. 医療を通じての国際貢献

診療時間

- 初診受付
午前8時30分～午前11時00分
- 再診受付
午前8時30分～午前11時00分
- 診療開始時間
午前8時30分 (初診・再診)
- 休診日
土曜日・日曜日・祝休日・
年末年始(12月29日～1月3日)

診療科最前線

ペインクリニック

麻酔科 高雄 由美子

皆さんはペインクリニックをご存知でしょうか？

ペインクリニックは麻酔科の一つの分野で、主に痛みに対しての治療を行っています。

麻酔科の仕事は手術中や手術後の痛みをとったり、呼吸や血圧などの管理をします。痛みをとるといわれるこの技術や知識を、手術以外の痛みに苦しんでいる人々にも役立てないかということで発展したのがペインクリニックなのです。

ペインクリニックでは体のいろいろな部分、頭痛、顔面痛、上肢痛、腰下肢痛、腹痛などの痛みに対しての治療を行っています。代表的な治療は神経ブロックと呼ばれる方法です。

神経ブロックとは、原因になっている神経の近くに細い針を刺し、痛みを和らげる薬を注入する方法です。使う薬は通常局所麻酔薬なので数時間で効果がなくなります。痛みを起している神経をお休みさせて回復を促すことにより痛みが徐々に軽快していくのです。

外来でよく行う局所麻酔を用いた主なブロックには、**星状神経節ブロック**や**硬膜外ブロック**などがあります。

星状神経節ブロックとは、のどの近くにある星状神経節という箇所^①に局所麻酔薬を注入します。同側の頭部、顔面、上

肢の痛み^②に効果があり、また血液の流れを改善する効果もあります。

硬膜外ブロックは脊髄の外側にある硬膜外腔というスペースに局所麻酔薬を注入しますが、痛みの原因となっている神経の根元に注入するので顔面以外のすべての痛みに対して適応があります。

痛みが強い場合には、入院のうえ硬膜外腔にカテーテルを留置して持続的に薬を注入して治療を行うこともあります。

局所麻酔薬以外にもアルコールなどの神経破壊薬を用いた神経ブロックもあります。神経を長期にわたって破壊するため適応のあるブロックは限られていますが、最近では高熱を加えて神経を麻痺させるような高周波熱凝固装置という機械を用いて、より安全に行うような取り組みもしています。神経ブロックによっては超音波やレントゲンで見ながら行うこともできます。

痛みの治療では、神経ブロック以外にも薬物治療やレーザー照射や電気刺激治療などがあります。薬物治療では通常の痛み止め以外にも漢方薬を含めて痛み^③に効果があるといわれている薬を組み合わせ使います。痛みの種類や患者さん個人個人によって効果のある薬が異なる場合もあり、テストをしながらその人に合う薬でオーダーメイド^④で決めていくわけです。

レーザー照射は、痛い部分にレーザー光線を当てることにより痛みを軽減したり血流を改善する治療法です。直接薬を注入する神経ブロックに比較すると効果は弱いものの、ほとんど合併症のない安全な方法なので、神経ブロックのできない患者さんに施行したり、神経ブロックと組み合わせます。

この他にも硬膜外腔に細い電極を留置して電気刺激することにより痛みを和らげるような治療法もあります。痛みのメカニズムは複雑でまだまだ解明されていないことも多くあります。

痛みはつらい体験で、痛みがあると日常生活も大きく損なわれてしまいます。また外から見えないので、なかなか理解してもらえません。特に慢性化した痛み

はなかなか頑固です。ペインクリニックでは今回紹介したようないろいろな治療を組み合わせ、痛みを苦しむ患者さんの日常生活を少しでも快適にするべく取り組んでいます。



外来でのペインクリニック

患者様からのよくある質問

質問

喫煙所はどこにありますか？

お答え

喫煙所はありません。

神戸大学医学部附属病院は、禁煙対策についてもしっかりとした対応を示す必要があるため、受動喫煙対策義務を盛り込んだ健康増進法の趣旨に基づき、平成16年2月から病院敷地内は全面禁煙を実施しています。皆様のご協力に感謝申し上げます。

とはいえ、喫煙習慣はなかなかやめることが難しいものです。当院では禁煙教

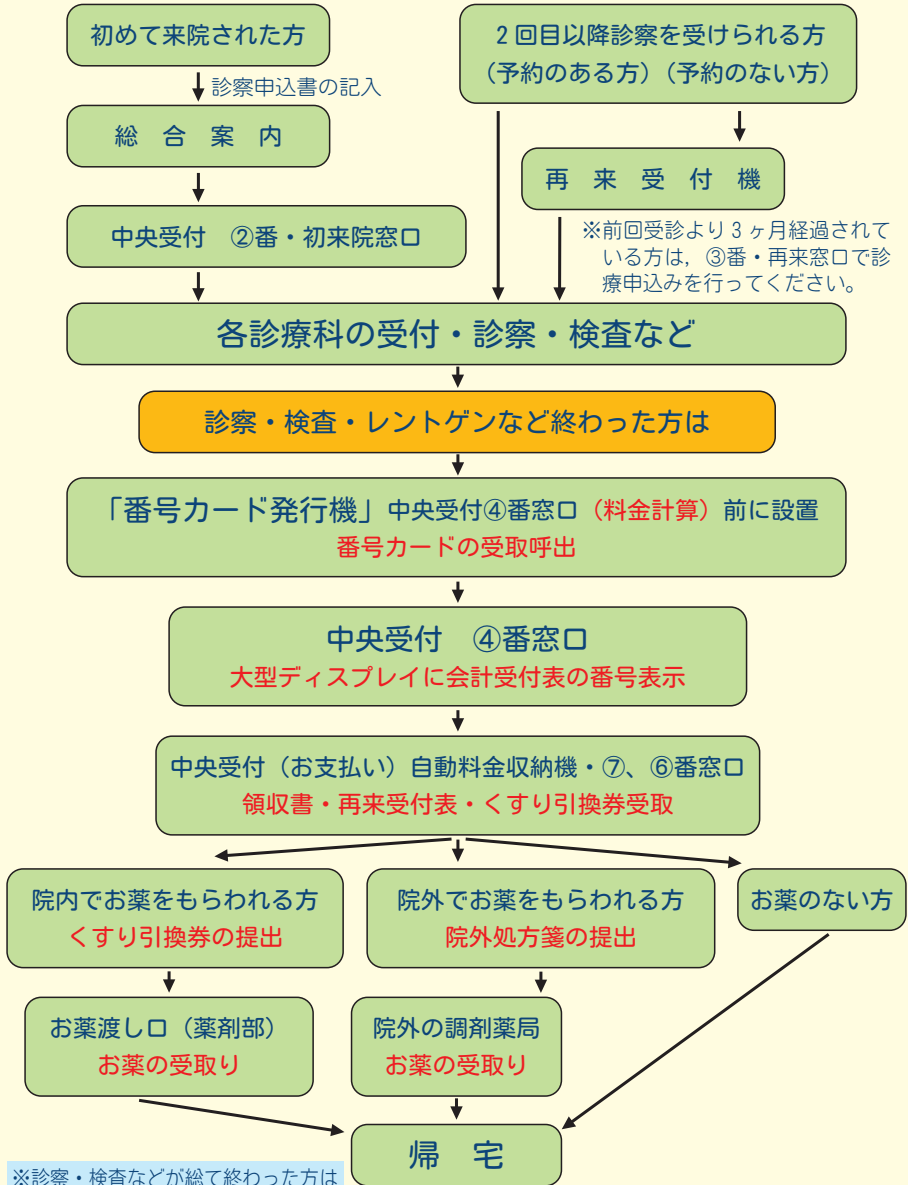
室と禁煙外来を行っておりますので、これから禁煙しようと思っている方、禁煙を薦められた方、まだやめようとも思っておられない方、一度教室をのぞいてみませんか。

皆様とともに禁煙を考えていただければ幸いです。

禁煙教室 第2・4水曜日 午後2時～
内科にて予約必要、無料

禁煙外来 禁煙教室終了後。保険診療可

受診の手続き



※診察・検査などが全て終わった方は

必ず1階中央受付④番窓口にお越しください

病院内 案内図

1階



食堂には正面受付より地下へお越し下さい。

